

## 東海メールクワイアー定期演奏会に参加して

荒川 滋

(フルトン男声合唱団・バリトン)

東海メールクワイアー第64回定期演奏会が、「創団75周年・高田三郎没後20年記念演奏会」として、2023年6月18日(日)愛知県芸術劇場コンサートホールで開催され、オンステしました。

男声合唱団 **東海メールクワイアー** 1946年創立  
日本男声合唱協会会員

### 第64回定期演奏会

### 「創団75周年・高田三郎没後20年記念演奏会」

高田音楽によって再生された東海メール、  
そのご恩に報いるために亡き師に捧げる感謝と祈り、  
創団75年の集大成としてお届けする魂の4ステージ！



## プ ロ グ ラ ム

- 第1ステージ…ワンステージメンバー参加ステージ  
 男声合唱のための『典礼聖歌』 作曲 高田三郎  
 (指揮:鈴木 順先生、ピアノ:木島美紗子先生)  
 神を求めよ／おお 神の富／谷川の水を求めて／アレルヤ／  
 ちいさな ひとびとの／平和の祈り／行け 地のはてまで
  
- 第2ステージ…『高田三郎エッセンス』 男声合唱のための高田三郎読本より  
 (指揮:清水敬一先生、ピアノ:清水 史先生)  
 主である神の霊はわたしの上にある／比良のシャクナゲ／  
 不来方の／燃えるもの一蜘蛛／くちなし
  
- 第3ステージ…男声合唱組曲『心の四季』 作詞:吉野 弘／編曲:須賀敬一  
 (指揮:清水敬一先生、ピアノ:清水 史先生)  
 風が／みずすまし／流れ／山が／愛そして風／雪の日に／真昼の星
  
- 第4ステージ…混声合唱組曲『水のいのち』 作詞:高野喜久雄／  
 弦楽合奏編曲:今井邦男  
 (指揮:清水敬一先生、ピアノ:清水 史先生、弦楽合奏:フィルハーモニア・ナゴヤ、  
 参加合唱団:女声コーラス「<sup>しょう</sup>青」、合唱団「空」、東海フィメールクワイアー)

高田男声典礼聖歌演奏の集大成とも言える第1ステージは、83歳のこの老いぼれにとって『典礼聖歌』を歌える最後のチャンスかも知れない・・・と思いながら参加し、お世話になっています東海メールクワイアーの皆さんに感謝して、全国の仲間とともに全7曲、心を込めて歌いました。「谷川の水を求めて」の東海メールクワイアー 中島暁さんのソロは、いつまでも心に残ります。

なお、定演前、私は5月14日(日)に須賀敬一先生(92歳)へ電話を差し上げ、久しぶりにお話を伺いました。

第1ステージの事前練習は、1月から5回開催され、そのすべてに参加したかったのですが、依然として居座るコロナ禍の推移を睨みながら、5月1回と6月2回の計3回、愛知県内の刈谷市、春日井市、それに名古屋市の会場へ通いました。



川瀬治通(左)さんと筆者

春日井市の練習会場は、東海メールクワイアー川瀬治通さんの川瀬医院ホールでした。

因みに、帰省時にはその都度、宮崎空港で新型コロナウイルス抗原定性検査(有料)を受けすべて陰性でした。

折角の機会ですから第3ステージ『心の四季』と、第4ステージ『水のいのち』も、是非、歌いたかったのですが、私の通院予約票を見ますと、3月から5月にかけては、宮崎医大(心臓血管外科)や県病院(泌尿器科)、それに頸椎に痛みが出る「首下がり症候群」などの精検が待っています。

練習参加が出演の必須条件のため、これではとても、第3、第4ステージの練習には通えず、残念ながら諦めていました。

ところが、5月と6月の第3ステージ特別練習に参加しましたところ、東海メールクワイアーの都築会長さんに特段のお取り計らいをいただきまして、第3ステージ『心の四季』の「1. 風が」から「7. 真昼の星」まで、全曲をオンステすることが出来ました。思いがけないことで誠に有難いことです。



ワンステージメンバーが参加する、第1ステージ『典礼聖歌』に各地から参加したメンバーとの交流は、今までに3回あります。

最初は、12年前の2011年11月19日仙台市のカトリック元寺小路教会大聖堂で、翌20日には、カトリック釜石教会で行われた「東日本大震災犠牲者追悼コンサート」、次は2016年4月17日、名古屋市のカトリック南山教会での「高田三郎先生帰天15周年記念ミサ」、そして、3回目は、2019年4月7日、「JAMCA(日本男声合唱協会)in熊本」の翌日、天草は潜伏キリシタンの里・踏み絵の崎津教会での「世界遺産登録記念コンサート」以来であり、旧知との久しぶりの再会で、懐かしさいっぱいでした。

終演後に行われた打ち上げ会に誘われましたが、コロナ禍を考慮して参加を辞退しました。



今回は、コロナ禍の第9波が危ぶまれるという安心できない状態でした。更に名古屋市内では、合唱に適した会場が閉鎖や改装などで相次いで使用できなくなり、練習会場の確保も困難を極めたそうです。

そのような中で、本番に備えての1月以降、12会場で44回

以上にわたる事前練習は、用意周到、東海メールクワイアーの皆さん方の力量を如何なく発揮された素晴らしい定演でした。

大変お世話になり有難うございました。東海メールクワイアーの益々のご発展を祈念いたします。

(画像は川瀬治通さんからご提供頂きました。)

2023年6月25日

### 【管理者・加藤良一よりひとこと】

私は荒川滋さんのことを年長者ではありますが、親しみを込めて荒さんと呼ばせて頂いています。初めてお会いしたのが2005年でしたから、かれこれ20年近いお付き合いになります。

荒さんはとても控えめな紳士ですが、そのフットワークの良さにはいつも半分心配しながら驚いています。ご自身でも書かれているようにいろいろと面倒な健康の不具合を抱えながらも、宮崎県から日本中どこへでも出かけて行きます。フットワークの良さに加え、不案内な場所へも物怖じすることなく飛び込んで行くその精神のしなやかさ、冒険心は見習うべきものとただ感心するのみです。

今回も、愛知で行われた「東海メールクワイア創団75周年・高田三郎没後20年記念演奏会」に遠距離にもかかわらず参加し、愛する合唱を全身で堪能されました。ご本人の熱意も去ることながら、それを理解し支えてくれるご家族の協力なくしてなし得ないことと思います。ますますお元気で歌い続けられんことをお祈りいたします。

↓ Click here!

### 【 荒川 滋 エッセイ 】

- |  |             |
|--|-------------|
| ▶ (M-187) フルトン男声合唱団 創立55周年記念演奏会        | 2022年3月31日  |
| ▶ (E-132) 荒さんのコロナ禍のひとり言                | 2022年3月31日  |
| ▶ (E-119) 北越 <sup>ほくえつ</sup> 戊辰戦争戦没者所感 | 2018年12月28日 |
| ▶ (E-106) 「すみだ第九」プラスアルファ               | 2016年3月19日  |
| ▶ (E-103) 戦後70年の節目に～東京ぶらりひとり歩き         | 2015年11月14日 |
| ▶ (E-92) 20年ぶりの沖縄                      | 2013年4月2日   |
| ▶ (E-72) 『荒さんのぶらりある記-その弐』 万里の長城へ登る     | 2013年4月2日   |
| ▶ (M-72) 心のオアシスを求めて『荒さんのぶらりある記』        | 2006年4月19日  |

Back

「音楽／合唱」TOP へ戻る

Home

「ホームページ」表紙へ戻る